

「国有林材の安定供給システム販売」の結果公表

平成25年4月18日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売」について、「安定供給システム販売申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取り組みを支援しています。

なお、平成25年度は、引き続き東日本大震災の被災に対する復旧・復興資材の供給及び木材需要の安定化へ寄与することを重点に実施します。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署	公募内容		応募件数
		樹種	数量	
1	兵庫(平成25年度分)	スギ、チップ原料材N	4,950	1
	兵庫(平成26年度分)	スギ、チップ原料材N	3,315	
2	和歌山	スギ、ヒノキ	1,000	1
3	鳥取	スギ	1,900	4
4	鳥取	スギ	1,800	4
5	鳥取	スギ	1,390	2
6	鳥取	スギ、ヒノキ	1,000	2
7	岡山	スギ、ヒノキ	2,900	2
8	岡山	スギ、ヒノキ	1,400	3
9	広島北部	スギ	2,700	3
10	広島	スギ	3,250	0
11	京都大阪外4	チップ原料材N	3,070	1
12	島根外2	チップ原料材N	5,130	1

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する取組の6項目から1つ以上を選んで取組内容が具体的に記載されており数量的指標が記載されているか、③「山元希望購入価格」等の提案内容について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	山元希望購入価格 (円/m ³)
1	兵庫県朝来市和田山町法道寺400 (株)キョウワ 和田山木材市場 代表取締役 森田 勝己	・木材市場の運営から、木材加工業、住宅機器事業等あらゆる住宅資材の供給まで、幅広い木材需要者、消費者を確保しトータルなサポートを行い国産材が外材に対抗できるシステムを構築する。 ・兵庫木材センターの組合員であるメリットを活かした流通の改善をはじめ、コストの徹底的な削減に努力し、企画・行動力で、流通経費、原木市場手数料のコスト削減などを行い、木材価格に反映させ、山元に利益が還元できるシステム、又は、各事業の収益性を高めて、素材生産・流通・加工の事業等の基盤の強化及び担い手育成のシステムの構築する役割を果たす。	6,665円
2	奈良県桜井市戒重137番地 西垣林業(株) 代表取締役 西垣泰幸	・無人製材機であるノーマンクリアシステムにより瞬時に最適歩留まりを測定し、原木の曲がり具合に応じた木取りパターンをプログラムしている。 ・製材機以後のラインにも工夫を加え、オートテーブルソーで更に最適歩留まりを追求するラインと、曲がり材をクロスカット処理して板取るラインの2ラインを並行設備している。 ・高温型乾燥機を8機有し、マーケットが求める部材をKD材として出荷する能力がある。 ・F/J設備を有しており曲がり材や欠点材の欠点部分のみを除去し、大手ハウスメーカーの求める品質基準を満たした工業化木材製品を生産することが可能である。 ・製材ラインを大幅更新したことにより、旧来以上の最適歩留まりを追求する製材工程に進化した。 ・原木の受入範囲も拡大しており木質資源の有効利用が更に図られている。	3,000円
3	兵庫県朝来市和田山町法道寺400 (株)キョウワ 和田山木材市場 代表取締役 森田 勝己	・木材市場の運営から、木材加工業、住宅機器事業等あらゆる住宅資材の供給まで、幅広い木材需要者、消費者を確保しトータルなサポートを行い国産材が外材に対抗できるシステムを構築する。 ・兵庫木材センターの組合員であるメリットを活かした流通の改善をはじめ、コストの徹底的な削減に努力し、企画・行動力で、流通経費、原木市場手数料のコスト削減などを行い、木材価格に反映させ、山元に利益が還元できるシステム、又は、各事業の収益性を高めて、素材生産・流通・加工の事業等の基盤の強化及び担い手育成のシステムの構築する役割を果たす。	7,609円
4	鳥取県鳥取市湖山町西2丁目413番地 鳥取県森林組合連合会 代表理事会長 森下 洋一	・鳥取県内森林組合を始めとした素材生産業者の原木のとりまとめを行い、大ロットで原木販売を行っています。販売先の確保、流通段階でのコーディネートを行うことで、流通コストの削減に取り組んでいる。 ・具体的に1,000m ³ /月仕分・積込を行う場合の流通コスト比較 (一般的にかかる流通コスト) 仕分・積込用機械レンタル料(250,000円/月) 250円/m ³ 運賃 2,000円/m ³ (本取り組みで削減した流通コスト) 仕分・積込用機械レンタル料(200,000円/月) 200円/m ³ 運賃 1,800円/m ³ 複数の現場を確保し、長期間の機械レンタルを可能としたことによる減額年間を通じた原木運送業務を確保することで運賃コスト削減、林野庁が平成18年2月15日に公表した「木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明のためのガイドライン」に示された団体の認定を得た事業者を中心に原木販売を行っており、合法木材の流通に尽力することで、原木・製品の品質管理、付加価値の向上に努めている。 ・鳥取県産材産地証明制度を活用し、鳥取県産材証明を発行することで、最終製品の付加価値の向上を行う。	5,500円

5	<p>兵庫県粟粟市一宮町安積字丸山217-20 協同組合兵庫木材センター 代表理事 八木 数也</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同一敷地内に施設を効率的に配置すること、製材の大規模化を行くこと、経営統合することにより、木材市場と製材所・製材所と製品市場(問屋)間の輸送コスト及び手数料の縮減を達成している。 ・原木は、買取から製品製造・加工・販売まで一貫して行い、さらに流通コストの縮減を図っている。 ・原木を自動選木機で寸検・形状測定と同時に、オペレーターによる品質選別を行うことにより最大値の歩留まりを確立し、取引先の求める品質に対応して製材をすることにより原木の付加価値を高めている。 ・機械等級区分構造用製材のJAS認定を取得し、製材された木材は、全量を乾燥・モルダグ加工して含水率・強度・目視による品質管理の徹底を行うことにより製品の付加価値を高めている。 ・化石燃料の高騰及び環境問題が取り上げられる中、乾燥機の熱源に木くず焚きボイラーを利用することにより、樹皮、木くずを燃料に活用し、化石燃料の不使用により年間約2億円以上の燃料代の削減とCO2の削減を行い、森林資源の有効利用をしている。 ・国産材の新規開拓としてOMソーラーパネルの台を供給している。海外向けとして、昨年度より韓国・中国に出荷している。 ・近畿・中国地方で平成24年度において約95,000m3の原木を取り扱い加工して、原木価格の安定に貢献した。今後も需要と供給を的確につなぐための川上と川下との関係づくりを図り、林業・木材産業の担い手・若手の育成及び地域の雇用を維持し、林業生産サイクルを円滑に循環させ、健全な森林を取り戻す取り組みを行っている。 ・大手ハウスメーカーの大規模プレカット工場は都市部に位置することから、端材を出さないことによる環境対策への要望により、長さ0.5mmの精度でジャストカットされた製品も供給しており、直接工場に大ロットで納入することによる流通コストの削減も行っている。 ・製材加工をする前に自動でミリ単位による径級測定と3Dによる形状測定をして、原木に対して最大限の有効な木取りを選択することにより、製品の効率的な生産を行っている。 	6,073円
6	<p>東京都江東区新木場1-7-22 物林(株) 国産材営業部 部長 中原 雅之 鳥取県日野郡日南町下石見1829-103 (株)オロチ 代表取締役 森 英樹</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スギ・ヒノキ(LVL)の連続製造装置を導入したことで間伐材から 厚さ30～150mm・幅40～600mm・長さ2700～9000mmまでの製品の生産が可能となり、製品サイズへの柔軟性により利用現場での施工性が向上。 ・スギ・ヒノキの原木を3mm代でカツラ剥きし、単板を乾燥機で十分に乾燥させ単板の強度を測定することでJAS基準の(スギ60～80E・ヒノキ60～120E)の製品を作り分けることが可能 ・乾燥した単板を必要なサイズに加工した大判を厚み規制(プレーナー)することで、最終事業者が要求する強度・規格を供給することを可能とし利用現場での木材廃棄物削減を可能とした。 ・山林からの出材は4mとし、加工段階では1.3m(1/3)に切断しカツラ剥きすることで製材には向かない曲がり材などを加工可能とし、山林からの出材率を向上することで有効利用が可能。 ・乱尺単板の横接能力の改良・向上により原木からの歩留まりの向上に取り組みと共に、製品の乾燥のために必要なボイラー燃料の自社確保率の向上のための取り組みを実施している。 ・余剰蒸気を利用した発電施設の導入、最大160kwの発電を可能とし、工場電力の一部を自社発電するとともに、デマンド監視等契約電力の削減によるコスト削減を可能とした。 ・地域産材の利用を基本とした地域振興を目指した地域起業の企業であり、地域産材に付加価値をつけるとともに、地域雇用の拡大を目指した企業として、国産材100%利用 ・地域産材のスギ・ヒノキの造作用・構造用LVLのJASを取得、防炎・防蟻のAQ認証を取得、FSC・COCの認証取得等需要者の要望に対応。 ・安定的な木材消費の企業が稼働することで山林現場での年間雇用に可能とし、間伐を中心とした事業体が増加するとともに、若年層の山林での労働者の増加に寄与。 ・間伐施業が行われるようになるとともに、年間30,000m3程度の素材出材であったものが現状では100,000m3まで増加。 	スギ 4,500円 ヒノキ9,700円
7	<p>兵庫県粟粟市一宮町安積字丸山217-20 協同組合兵庫木材センター 代表理事 八木 数也</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同一敷地内に施設を効率的に配置すること、製材の大規模化を行くこと、経営統合することにより、木材市場と製材所・製材所と製品市場(問屋)間の輸送コスト及び手数料の縮減を達成している。 ・原木は、買取から製品製造・加工・販売まで一貫して行い、さらに流通コストの縮減を図っている。 ・原木を自動選木機で寸検・形状測定と同時に、オペレーターによる品質選別を行うことにより最大値の歩留まりを確立し、取引先の求める品質に対応して製材をすることにより原木の付加価値を高めている。 ・機械等級区分構造用製材のJAS認定を取得し、製材された木材は、全量を乾燥・モルダグ加工して含水率・強度・目視による品質管理の徹底を行うことにより製品の付加価値を高めている。 ・化石燃料の高騰及び環境問題が取り上げられる中、乾燥機の熱源に木くず焚きボイラーを利用することにより、樹皮、木くずを燃料に活用し、化石燃料の不使用により年間約2億円以上の燃料代の削減とCO2の削減を行い、森林資源の有効利用をしている。 ・国産材の新規開拓としてOMソーラーパネルの台を供給している。海外向けとして、昨年度より韓国・中国に出荷している。 ・近畿・中国地方で平成24年度において約95,000m3の原木を取り扱い加工して、原木価格の安定に貢献した。今後も需要と供給を的確につなぐための川上と川下との関係づくりを図り、林業・木材産業の担い手・若手の育成及び地域の雇用を維持し、林業生産サイクルを円滑に循環させ、健全な森林を取り戻す取り組みを行っている。 ・大手ハウスメーカーの大規模プレカット工場は都市部に位置することから、端材を出さないことによる環境対策への要望により、長さ0.5mmの精度でジャストカットされた製品も供給しており、直接工場に大ロットで納入することによる流通コストの削減も行っている。 ・製材加工をする前に自動でミリ単位による径級測定と3Dによる形状測定をして、原木に対して最大限の有効な木取りを選択することにより、製品の効率的な生産を行っている。 	6,515円
8	<p>東京都江東区新木場1-7-22 物林(株) 国産材営業部 部長 中原 雅之 鳥取県日野郡日南町下石見1829-103 (株)オロチ 代表取締役 森 英樹</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スギ・ヒノキ(LVL)の連続製造装置を導入したことで間伐材から 厚さ30～150mm・幅40～600mm・長さ2700～9000mmまでの製品の生産が可能となり、製品サイズへの柔軟性により利用現場での施工性が向上。 ・スギ・ヒノキの原木を3mm代でカツラ剥きし、単板を乾燥機で十分に乾燥させ単板の強度を測定することでJAS基準の(スギ60～80E・ヒノキ60～120E)の製品を作り分けることが可能 ・乾燥した単板を必要なサイズに加工した大判を厚み規制(プレーナー)することで、最終事業者が要求する強度・規格を供給することを可能とし利用現場での木材廃棄物削減を可能とした。 ・山林からの出材は4mとし、加工段階では1.3m(1/3)に切断しカツラ剥きすることで製材には向かない曲がり材などを加工可能とし、山林からの出材率を向上することで有効利用が可能。 ・乱尺単板の横接能力の改良・向上により原木からの歩留まりの向上に取り組みと共に、製品の乾燥のために必要なボイラー燃料の自社確保率の向上のための取り組みを実施している。 ・余剰蒸気を利用した発電施設の導入、最大160kwの発電を可能とし、工場電力の一部を自社発電するとともに、デマンド監視等契約電力の削減によるコスト削減を可能とした。 ・地域産材の利用を基本とした地域振興を目指した地域起業の企業であり、地域産材に付加価値をつけるとともに、地域雇用の拡大を目指した企業として、国産材100%利用 ・地域産材のスギ・ヒノキの造作用・構造用LVLのJASを取得、防炎・防蟻のAQ認証を取得、FSC・COCの認証取得等需要者の要望に対応。 ・安定的な木材消費の企業が稼働することで山林現場での年間雇用に可能とし、間伐を中心とした事業体が増加するとともに、若年層の山林での労働者の増加に寄与。 ・間伐施業が行われるようになるとともに、年間30,000m3程度の素材出材であったものが現状では100,000m3まで増加。 	スギ 4,500円 ヒノキ9,700円
9	<p>広島県広島市中区上八丁堀8番23号 広島県森林組合連合会 代表理事会長 佐藤 義則</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原木を、樹種・長さ・径級・形状・材質ごとに細かく仕分けし製材所等の需要先に安定的に供給する。 ・小径木については広島県北部国産材加工協同組合と連携を図り、有利販売できるように取り組む。 ・システム販売を通じて地域材を安定的に集荷し、販路の拡大を図ることによって国産材の安定供給と地域振興の実現に寄与する。 ・東日本大震災の復旧・復興に必要な資材の安定供給。 	4,800円
11	<p>鳥根県松江市西津田1丁目2番14号 山陰丸和林業(株) 代表取締役 北岡 幸一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木材チップの加工販売:製紙会社等に製紙用原料として安定供給 ・オガ粉(ダストチップ)の加工販売:きのこ栽培用の培地、家畜の敷き料、遊歩道などの舗装用 ・木質バイオマス燃料(端材、樹皮)の加工販売:製紙会社等に木質燃料として安定供給 	チップ原料材N 1,200円

12	島根県松江市西津田1丁目2番14号 山陰丸和林業(株) 代表取締役 北岡 幸一	・木材チップの加工販売:製紙会社等に製紙用原料として安定供給 ・オガ粉(ダストチップ)の加工販売:きのご栽培用の培地、家畜の敷き料、遊歩道などの舗装用 ・木質バイオマス燃料(端材、樹皮)の加工販売:製紙会社等に木質燃料として安定供給	チップ原材料N 1,200円
----	---	--	-------------------